

科学暦
宇宙語

瓦版

科学暦

第八号

科学暦九年四月二十五日

発行人 宇宙語・科学暦普及協会

「地球人へのメッセージ、

宇宙人のリデロより」

科学暦2・9・28

角辻 豊

地球人のみなさま、初めまして。私は地球外生物の一人で、名前をリデロと申します。今回、時事通信の依頼を受けて、ひとことご挨拶することになりました。

それにしても、地球上で唯一「笑う」ことができる皆さんは素敵な存在ですね。笑うことで心にゆとりが出来、自分を突き放して見る客観性を培い、リラククスでき、免疫は強くなり、そして何よりも、お互いに気持ち良く付き合えるんですから。やはり「笑い」を知らない地球上の皆さん以外の生き物より一段上、と私共も認めざるを得ません。

そう言うお前さん自身は笑えるのかい、とおっしゃる声が聞こえそうですが、勿論私共の世界は大笑い続出、毎日、と言うか、毎宇、笑い声の絶えることはありません。どんな笑いが多いかとのご質問ですか。これはなかなか鋭い。昔は私共の笑いにも一寸困った笑いが多かったのです。人を馬鹿にして笑ったり、人に

勝って笑ったり、差別して笑ったり、の、いわゆる優越の笑いですね。この笑いの世界から抜け出すのに、なん銀河年もかかりました。(註、1銀河年とは銀河系がその中心を一周する時間の長さで、皆さんの時間では約2.億年となります。)

ところで、私自身の紹介を宇宙人と「人」と言う字を使いましたが、実は私共もこの概念の言葉を自分達を表現するのに使っているのです。発音と文字はここにお書きしても無意味なので省略しますが、要するにお互いに支えあって生きている、と言う意味です。

お互いに支えあうには、当然意思の疎通が不可欠です。そこで、すぐ思いつくのが言葉や文字ですが、実は笑いをはじめとした、表情が私共でもっと重要なのです。きつと皆さんの社会でもそうではないかと想像します。

それにしても最近の地球人の一部の方々、それも地球世界を支配していると錯覚されている方々に笑いが少なくなってきたのが心配です。昨年の秋に一寸した爆発騒ぎがあった何千人かが亡くなられたそうです

60G0S0N
9T 04 25

- 一. 地球人へのメッセージ 角辻豊
- 二. 夢の中へ
- 三. 「聞き書き」むかしの大阪
- 四. 近江牛について
- 五. 鳩はどく鳴くの
- 六. 八年度活動報告・他

- 一〜二ページ
- 二〜四ページ
- 四〜六ページ
- 六〜七ページ
- 八ページ

が、そんなこと、皆さんの世界では別に珍しいことではないんではないですか。私共の知る限りでは、何十万、何百万と言う皆さんの同朋が戦争と言う殺し合いや、飢餓と言う食べ物の取りあいでお亡くなりになっているはずです。

まあ、皆さんの中にも差別があった、一人一人の死の価値にも差があるとでも推察しない限り、この大騒動は私共には理解できません。

その事件以来、どうもあんなに明るく陽気で闊達だったその国の方々ではないか、と言う猜疑心に駆られて、やられないうちにやつつけよう、とする行動、たとえ被害者意識からとはいえ、攻撃性が表に出ると大変なのです。なにしろ心に「笑い」のような「ゆとり」が無いのですから。

どうも大変不気味なご挨拶になってしまいました。私共も笑いを失いつつある皆さんの行く末をひどいながら心配しています。

最後に最近聞いた一部の地球人の諺をひとつ、「目には目を歯には歯を痔には痔を」。何のことかお判りになる方が多いことを祈りつつ。



画家 奥野 平人

ここで、皆さんにだけ楽屋裏を覗いて頂きましょう。リデロはラテン語で「笑う」の意味のリデオと再テロの意味のリテロをつないでもじったもの、痔は「自」との語呂合わせで、無論「自爆テロ」を意味しています。「国家テロ」側はただの一人も痔を病んでおられないようですね。「痔の苦しみは病んだものにしかわからない」

それにしても、最近笑いの中でも、風刺の笑いが少ないのが心配です。永六輔さんも週間文春の対談で、この点を指摘しておられたのを、昨日（昨年）読んだところです。笑いの無い社会は不健康になりがちで、進歩ともゆとりとも無縁になってしまおうと愚考します。

そう言えばヒットラーも「相手より先に刀を抜く。」なんて威張っていました。

あな、恐ろしや、恐ろしや。

兎に角、戦争で儲かる輩がいる限り戦争は無くなりません。早いこと人類は絶滅して、「情動に匹敵した暴力」しか持たない生物の地球に戻してやるべきなのかも知れません。

いやはや我々はそれにしても過剰な暴力と信仰を発達させ過ぎましたな。

「夢の中へ」

猪野 美子



夜明け。午前四時とか五時とかに連夜のように夢を見るようになったのは、十四年（1994年）に甲狀腺ホルモン機能亢進症で七ヶ月間入院したのが始まりだった。午後十一過ぎから午前零時過ぎに寝ついて、悪夢で目醒めると四時か五時だった。悪夢とするのは、たいてい二三日で消えるが、時には何ヶ月も覚えて

いて、厄介だからである。十四年過ぎた今も浮かぶものに、落語家の桂三枝さんがお弟子を引き連れて見舞いにきた、というのがある。現職の頃は親しい芸能人の一人だったから別に夢に出てきても可笑しくはなかったが、大病院の教授の回診ばりにぞろぞろときてもらうほどの関係ではなかった。まだ覚えているのは、よほど珍妙な風景だったからだろう。現在もよく見る。昔の忘れ得ぬエピソードの再現もあり、これなど目が醒めるとしみじみとして、何回も見たがそうは上手くいかない。逢ったこともない写真だけの知人が、それもご夫婦で自宅を訪問された夢は、お二人が健康優良児風に淫刺とされており、病身のわたしは羨望はなはだしく、これも今だに忘れられず困ったことである。

素人考えだが、熟睡出来れば、このような悪夢は見ないで済むのではないだろうか？不眠は実母が亡くなった夜から始まった。もう五十年も前である。なるだけ眠剤に頼らずに、という努力しているが、美味しい眠りとは無縁になり、熟睡感もない。だから、夢はいつもウトウトと浅い眠りの連続と無関係ではないと思っている。グツと眠れ、スカツと目醒める人には、夢のつけ入る隙もないだろう。しかし、考えようでは熟睡健康型では怪しげな夢を楽しむ

こともないわけで、不眠型の特権とも言えそう。悪夢とつれづれもまんざらではない、と無理をしている。もし名精神科医の角辻豊さんが在りせば、積年のナゾに専門家の立場から正しき解答を得られたのでは、とご逝去はわたしにとっても大きな損失であった。

《聞き書き》

「昔の大阪」パート2

最年長会員 中村 節

(九十五歳)

前説

顧問 中村 允人

前々号（第六号）の瓦版に母、節の聞き書き「昔の大阪」を掲載していただきました。その前書きに記した通り、この聞き取りは科学暦六年（2006年）九月十日に故角辻豊会長夫妻等により行われ、テープとビデオに記録されました。

前回の原稿は、その時のテープから和中みずほさん（角辻会長長の長女）が起こしてくださいましたものの最初の三分の一ほどの部分を、私が母本人にも確認しながらかなり読みやすくリライトしたものでした。今回、その続きを載せるようにとの角辻克子さんからの非常に強い要望がありま

したが、母は聞き取りからちようど一年後の七年九月十六日に九十六歳で亡くなり、続きの部分については本人に内容を確認することができません。このままでは非常に読みにくいものになると思いましたが、それでもよいとのご意向なので、質問の部分をかぎ括弧に入れて改行し、句読点を分かり易く入れ、どうしても分かりにくい所は二、三語句を挿入して原稿に仕上げました。九十五歳の大阪の老婆のおしゃべりをそのままとっていただいて、読みづらいでしようが、お許し下さい。

なお、質問者は区別しておりませんが、角辻会長、克子夫人、佐野ほづみさん（角辻会長長の次女）、それに私です。角辻会長は当時すでに殆ど声が出ませんでしたので、克子夫人あるいはほづみさんに筆談で質問を伝えていました。いちばん乱暴なタメ口（ぐち）で訊ねているのが息子である私です。

「学校の話をしうか、尋常小学校からあと・・・」

町が、そんな風にして農地を潰して家を建てるから学校要りますやろ、職場もいっぱいできるからね。あたしのうちの隣に小学校が立ちましてん。豊崎第四、豊四いましてん。豊崎は六まであってな。

「で、その小学校ができたときから

行ったわけやな？」

半分建ったときから行った。朝から行く時と昼から行く時とありました。校舎が全部できへんに生徒が多いから。小学校の二部制やった。

「私らの戦後の二部制みたいやねえ。」

だいたい、四年生が境でね。四年生からは全日制でしたけど。大正七年入学やと思います。女学校入ったのが十三年やと思いますけど。確かそうやと思うけど、傘の袋にそう書いたと思うけど・・・。大阪市に編入になったんははつきり覚えてないんですけど、大阪市が二度目の拡張をしたんが、昭和二年くらいやったと思うんやけど・・・。

「女学校の名前をきかんならん。」

そこから、金蘭高等女学校に大正十三年に行っただけです。大手前の卒業生がこしらえはった学校ですわねん。

「その、千里の金蘭が、福島にあっただんですね。」

「そう、千里のほうが後よ。」

千里の方は短大こしらえはったとき千里につくってね。

「金蘭はいつからある学校なんですか？」

あれは、明治の日露戦争の後建てはったんとちがうかな。あの時分、景気が良かったから。私ら行った頃はかなり古かったからね。

「それで、福島の金蘭へ長柄から、通うときは、あの電車やな。」

そう、その当時ね、阪神電車が、天六から野田まで、チンチン電車が走ってたね。

「国道線と一緒や。国道線が西の方まで走ってて、それが野田阪神でいっぺん切れて、そこから国道線と同じような電車が天六まで走ってて、大阪の北の方をズーっと走ってて。」

「電車賃はいくらくらいだったでしょう？」

定期買うてくれたけど、いくら位やったかなあ。

「尋常小学校から、女学校に行きける人はどれ位の割合だったんですか？」

同級生で女学校へ行ったんは五十人クラスで、四、五人位やった。そんなもんでしよう、昔やったら。

「その他の人は、みんな仕事ですか？」

就職した人もいるし、また違う裁縫学校いうのもありましたからね。

そんなとこへ行きはったと思います。小学校は男女共学でした。男の子は北野行った子もあつたし、いろいろありました。女は私入れて四、五人やっただけ。あの時、今の大阪市立女学校、あの当時は「実践」いうてんけど、大阪市が初めて女学校を建てて、その時でした。

「それは今も残ってるんかなあ。今は何になってるんやろう。」

河内のほうにある筈やわ。そこにいった子もありました。

「小学校は一組五十人位？」

男五十、女五十。豊崎町は広がったですから、小学校は六つ、第六まであったと思いますわ。そのうち高等科があったんが、六と二と・・・全部はありません。高等科へ行く子は少ないですからね、尋常をすませ、二年。高等科はね。

「その上の女学校というのは、三年ですか？」

「旧制の女学校・中学校は五年です。」

「はじめ六年行って、次、五年。高等小学校は、六年のあと二年がある。」

大体、二年行って、奉公にいくとか、そんなんです。男の子は、丁稚にいったりする。小学校出ただけではあかんけど、高等行ったらええんです。

「十四歳から十五歳くらい・・・。」

「で、女学校の授業科目は・・・？」

女学校は普通、私らしてたんは今とあんまり変わりません。英語もありましたし、国語漢文、みなありましたし、今の中学校よりは充実してたと思います。国語の時間もたくさんありましたしね、私の医者(の娘)の友達が云ってましたからね。うちの看護婦試験受けんねん、云うて勉強してんねんけど、私らあんなことみんな知ってるわ、云うて、笑

るてやったから。そんなんは、私ら、家事で習ろたわけです。看護法とかそんなね。

「それだけ中身が充実してた、とい

うことですね。」

「今で言う家庭科の授業ですね。」

そう、家庭科ですね。その時分、家事科云いました。

「今でいうホームルームとか、そんなんは・・・。」

あらしまへん、勉強だけですけども。私らの友達が、結婚した後、旦那さんが死んで、郵便局勤めたんです。で、女学校行ってたから高い地位につけてもろたんですが、下の子が、字い知らへんゆうて、カンカンになって怒ってました。何にも知りやらへん、ゆうて、怒ってたわ。

「その方は幾つくらいの時に？」

さあ、戦後やから、四十くらいの時やね。

「それで、授業科目は今と同じで何が・・・。」

「音楽とか理科とか・・・。」

今と違うのは、国語の時間がものすごく多かったですね。今は週に十何時間もしはらしませんやろ、ほとんど毎日国語があつて、それ以外に文法やらあつて、それより長うなりますからね。十時間以上、ありましたからね。

「国語というたら、漢文も・・・。」

漢文は、また別です。文語習いましたもん。

「数学も理科もあつた？」

あつた。毎日五時間、土曜日は四時間やけど、六時間の日も幾日がありました。学校はかつちり受けましたよ。

「そのときは塾なんているのはないでしょうね。」

それはあらしまへん。結局、その、上級学校を受ける子は、家庭教師を家でつけはりますやろ。

「家庭教師は、女学校へゆくために？」

そうです。女学校は入学試験ありますわ。大手前やら清水谷は、ものすごく競争率が高いでした。

「そのときの有名な人気女学校は・・・？」

大手前やら清水谷やら、府立でしたね、それからさつき云うた実践も競争率高かったです。男の子やったら北野とかね、高津とか天王寺、豊中とかもね。池田は落ちたけどね。「昔の女学校が今いいとは限らない。学制（の変更）で男子が入るようになったら・・・」「清水谷女学校は今ある？」「今でも清水谷高校ってあるで。」（次号へ続く）

「近江牛について」

科学暦 金成 千一 西暦 千九 年

一月十五日

大谷 雄一郎

一. 角辻さんとの思い出

■ ACOB合唱団

芦屋の奥池の角辻邸で好きな合唱曲を阪大・阪女大コーロド合唱団OBの有志と毎月歌ってきてもう十年

ぐらいなるだろうか。私はサントリを退職してから鴻池運輸に再就職し、大阪に単身生活していたが同窓会で故角辻豊さんに誘われて入団した。大学卒業後は宗教曲を主体とした合唱団で歌ってきたので日本語の合唱曲は男声も混声もとても懐かしかった。

■ グルメ角辻氏

ある時合唱の合間の雑談で、「大谷は

滋賀県やなあ。ここでバーベキューをやるうと思っけど

近江牛を食えんか？」と角辻さんから話がでた。神戸牛の本場で、近江牛は面白い。早速、地元石山の老舗『松喜屋』で近江牛を購入して瀬戸内海が眼下に見えるベランダで焼肉パーティーをやった。近江牛は塩コショウで食べ大いに盛り上がったのだ。

これが大好評で一年後、再度近江牛パーティーをやった。

そこで今回、角辻さんへの追悼の意も込めて牛肉及び近江牛について少し話してみた。

二. 近江牛の歴史

■ 古代日本人と牛肉

古事記に天日槍（アメノヒボコ）が朝鮮から牛を連れて日本に渡来し、但馬に住み着いたと記されているが、これが日本人と牛、並びに牛肉との出会いだっただけか？



その後、大津に都を置いた天智天皇は東北騎馬民族の子孫の百済の官吏や貴族を多く抱えていたので牛を食べたが、壬申の乱で勝利した天武天皇は新羅系のブレインが仏教徒であったため牛は食べなかった。日本書紀に記されているように「殺生禁断令」が出されて一般人も牛を食べ無くなった、と肉牛新報社の瀧川昌弘氏は推理している。

■ 戦国時代と武将

長らく牛肉食の習慣の途絶えていた日本人が再び食べるようになってきたのは、戦国時代日本に来ていた宣教師たちによって戦国武将に肉食を広めたかららしい。ルイス・フロイスの著した『日本史』には「日本人が嫌悪していた肉料理を太閤様までもたべるようになった」と記されており、更に1590年秀吉の小田原攻めでは高山右近が蒲生氏郷と細川忠興に牛肉を振舞ったとされている。戦国には牛肉力が必要だったのかも知れない。

■ 江戸時代の彦根藩

蒲生氏郷は近江日野の出である。地理的に近い井伊彦根藩が江戸時代牛肉生産を独占的に公認されていた。牛肉は1686年「反本丸（へんほんがん）」と称して味噌漬が薬として販売された。薬とすることで日本人の牛肉に対する抵抗を和らげたのであろう。これを將軍に定期的に献上し、又諸侯に振舞った。更に乾燥牛

肉も將軍に献上した。

江戸後期、尾州藩士の指導があり牛の肥育を蒲生の地で始めたのである。この頃近江では本格的に牛肉の肥育を始めたのであろう。そして幕末、彦根藩の勘治が江戸で彦根牛の看板で薬種肉屋を開業している。しかし一時期、井伊直弼が僧侶であったため殺生禁断を彦根藩が行いそれまで続けていた水戸斉昭への牛肉献上を中止した。これが幕末の両者の争いの一因となったという逸話もある。

■ 明治の牛肉販売

明治になり横浜で多くの外国人が牛肉を食したため、滋賀県から十七十八日かけて牛を追って行き肉牛の取引を始めている。この頃東海道では追いはぎ・山賊が頻繁に出たため清水次郎長が助人として牛運びの安全をはかったといわれ長く交流があったようだ。

1869年ごろの時点で滋賀県外に移出された牛は実に五千頭にも及んでいる。

1879年、竹中久次が東京で牛肉の卸小売店「米久」を開業し「江州産牛」として売り出した。また牛鍋屋も営んだ。一方銀座にはすき焼きの「松喜屋」ができ、今の滋賀「松喜屋」の創業者西居庄蔵が近江牛を一手に納入し宮内省ご用達となっている。関東大震災以後関西発のすき焼きが広まりいつの間にか東京でも

呼び名がかわった。

牛の流通面でも竹中・牛鍋屋「いるは」の木村・東洋の煙草王といわれた岩谷の三人が1893年「日本家畜市場組合」を結成し牛肉の取引が整備されていった。

■ 神戸牛・松阪牛との接点

三大ブランド牛といえれば近江牛・松阪牛・神戸牛をいう。

その近江牛は1882年頃からもう徒歩でなく、神戸港や四日市港から船で東京に運ばれるようになった。しかし日本郵船を始め船会社は、牛が時化で暴れるなどの理由で契約を嫌がった。そこで近江牛商人は「暴れたら牛を海に落としてくれ。但し尻尾を切り取っておいてくれれば船賃は支払う」ということにして解決した。東京では神戸や四日市から牛が運ばれてくるというのでそれらを神戸牛や松阪牛といった。後日、東海道線が開通し八幡駅(現在の近江八幡)から来るようになり「あれは近江牛だった」と分かったという話がある。それはその頃松阪牛と神戸牛も有名になって販売競争が激化したことによる情報競争ではないのだろうか。

更に1892年朝鮮半島より牛の疫病が伝わり生牛の移動が禁止され、滋賀県内にも常設市場ができ枝肉で取引されるようになった。

■ 西南戦争・日露戦争と牛肉

牛肉は小売と牛鍋屋だけで販売

が増大したのではなかった。

1877年西南戦争で牛肉缶詰を政府軍に補給し牛肉大和煮が有名になった。また日露戦争でも軍需用が激増し前年比三十%増の伸びで(年間二十九万頭)生産が追いつかずアメリカから缶詰を輸入する事態となり価格も高騰した。

■ 大正・昭和から平成

大正期には東京の成功に続き京都でも森嶋栄吉が「京都米久」を新築極ほか次々と開業するなどして繁盛した。しかし昭和になり戦争の進行と共に牛肉市場も一旦衰退する。

だが戦後1947年に早くも東京で第1回の近江牛の宣伝が行われ、装飾トラック三台に十頭の牛を載せてセリの実演や試食会・即売会が催されている。また空から派手に落下傘を使つての牛肉の「ばら撒き」をするなど大宣伝により松阪牛、神戸牛と競うと共に国内の牛肉消費をおった。

その後全国の畜産業が活性化され、現在では二百以上の銘柄牛ができ三大ブランドといったのは昭和四十年代までのこととなった。

三. 近江牛の産地

■ 子牛は但馬出身

近江牛の殆どが兵庫県但馬の生まれである。それは但馬牛の親牛が良いからである。特に種雄牛はその血統がすばらしい。黒毛和種の一つ

で肉質がよく様々な銘柄牛の素牛や種雄牛として知られている。古く「続

日本紀」にも耕運・挽運・食用に適すと記されている。長命連産で繁殖力が強いため盛んに生産されてきた。兵庫県養父市場などに牛市が立ち畿内やその周辺の畜産家と取引されている。したがって但馬牛は近江牛・神戸牛・松阪牛の素牛であり、また前沢牛・佐賀牛・飛騨牛等の銘柄牛にもその血統をいれ品質の改良を行ってきた。特に幕末、但馬の前田周助は妻子と別れてまでも良牛小代牛の血統の固定化に生涯をつぎ込み、その「周助蔓(ツル)血統」は今日の但馬牛の系統の基礎を築いたといわれている。

今日いう近江牛とは但馬産の血統正しい子牛(生後七ヶ月)の雌牛または去勢雄牛を滋賀県に連れてきて2年ばかりかけて肥育された牛のことをいう。

■ 肥育地は主に湖東

但馬から連れてこられた子牛は滋賀県内の湖東、旧名称の蒲生郡・神崎郡・野洲郡・甲賀郡・愛知郡などで愛情をこめて育てられている。

この地域はびわ湖に注ぐ愛知川・日野川・野州川の三河川の流域地域で清らかな水と二毛作による豊富な穀物資源に恵まれており、飼育牧場が多い。またこの地域は鈴鹿山系から湧き出る鉄分とミネラルを多く含むだ水もあり肥育に良い。

四. 近江牛肉の特徴

■ 肌でも解ける脂肪

①肌で解ける近江牛独特の粘りのある上質の脂肪を持つ。脂肪の融点は普通の牛が約31度なのに対して約25度と低い。また不飽和脂肪酸Ⅱオレイン酸・リノール酸等の飽和脂肪酸に対する割合が高く健康にも良い。

②霜降り(サシ)と呼ばれる肉繊維と脂肪の交雑が他の銘柄肉に比してきめが細かく上質に仕上がっており、口に入れたときの食感と溶けるような風味を感じる。果実香や樹木の香り成分の和牛香がある。また含有糖類の甘味・グルタミン酸 アスパラギン酸 イノシン酸などアミノ酸の旨みがある。

③見た目も独特の美しい光沢を持つ。カロチノイド系色素飼料に由来する黄色味がかつた脂肪とミオグロビンの赤身の色を含む。

④肉は屠殺後、水分の蒸発により肉の量が減少する「磨耗」という現象が起るがその量が少ない。

五. 近江牛の老舗

■ これはほんの参考まで

滋賀県内には近江牛を食べさせてくれる店が多い。従って紹介するには調査も不十分なのでここでは老舗の一部を参考までに載せる。興味のある方はネットのHPを調べたり観光ガイドブックで自分の好

みの店を探されたい。
松喜屋 本文の冒頭にも触れたが

本店は小生の居住地の天津市石山 明治初期 先祖の西居庄蔵が竜王町で生産・輸送に力を注ぎ近江牛の名を高めた。

カネ吉山本 創業者山本竹三良が近江牛を全国に普及させた功労者の一人

明治二十九年近江八幡で販売開始 大正末東京・東北・北海道に拡売

毛利志満 近江八幡 明治十二年先祖の竜王町出身の森嶋留蔵兄弟と竹中久次が東京浅草で牛鍋屋を開業

爆発的ヒット二十六店舗

六、牛肉の銘柄(ブランド)と規格

■銘柄

牛肉の銘柄は産地(地理的表示)・血統・枝肉の規格・飼育法などによりある一定基準を満たしているものにつけられている。地理的表示も同一地域で飼育されていても、ある生産者組合に加盟し肥育した場合のみに許されているものもある(近江牛・松阪牛・神戸牛など)。

■規格

規格は日本食肉規格協会による規格で歩留等級A〜C(Aが良い)肉質等級 5〜1(5が良い)がある。

(肉質等級は4つの要素 ①脂肪交雑 ②脂肪の色沢と質 ③肉の色沢 ④肉の締りとキメで構成される)

■規格と銘柄

銘柄牛には食肉協会規格を用いているもの、一部用いているもの、全く使用していないものがある。

一般に格付けの低いものまで含めると流通量が確保でき、ブランドの知名度は上がるがブランドの信頼度は落ちる。次に見るように最高級規格だけの銘柄牛は少ない。

肉質等級5のみ 仙台牛・深谷牛・信州牛

肉質等級5&4 前沢牛・若柳牛

米沢牛・常陸牛・佐賀牛

宮崎牛

肉質等級5・4・3 いしがた和牛

飛騨牛・おおいた豊後牛

肉質等級5〜1 松阪牛・近江牛

但馬牛(神戸牛)・しまね和牛

七、近江牛の最近の動向

■近江牛の認証

今述べたように近江牛には現在の品質の格付けが反映されていない。これでは近江牛といっても千差万別になるということで平成二十年七月十七日から近江牛の認証と云う制度が出来、近江牛の中でも特に品質の良いものに認証書及び認証シールを貼るようになった。必要条件はA4、B4等級以上のもの

で滋賀食肉センターまたは東京都芝浦屠畜場で屠畜枝肉格付けされたものであり、消費者にわかりやすくくなった。

■付録

「旨いステーキの焼き方」

(肉厚1.5cmの場合)

- ① 下準備 肉の温度は常温に
- ② 焼く直前に岩塩・黒胡椒を適量片面に振る
- ③ 厚手の鉄製フライパンに脂を少量入れ強火で少し煙が出る程度に加熱する
- ④ 盛り付けて表にするほうから強火で30秒焼く
- ⑤ 弱火に落としレア30秒
ミディアム60秒 ウエルダム90秒焼く
- ⑥ 一度返して強火で30秒焼き余分な油を除く
- ⑦ 弱火に落としレア30秒
ミディアム60秒ウエルダム90秒焼く
- ⑧ 最後にワイン・シェリー酒・ブランドーなど少量振りかけ焼きあげる。焼きあがればポルドーの赤ワインなどを友にいい音楽を聴きながらゆっくり召し上がれ。

八、終りに

角辻さんとの付き合いから近江牛について関心を持つようになった。おいしい近江牛は多くの人々の牛に対する深い愛情と肉の旨さへの

飽くなき探究心から生まれ、私達後発牛肉消費国のレベルを世界に誇れるまで上げてきたのだとつくづく感じた。

終りに改めて角辻豊さんのご冥福をお祈りします。

参考資料

- 瀧川昌弘著「近江牛物語」
 - 他 近江牛・松阪牛・但馬牛など銘柄牛に関するホームページ多数
- 以上

「ハトはどう鳴く?」

宮崎修一朗



と質問すると、「アホか?!」と云った顔をされるのかオチ。

「ポッポだよ。そんなことも知らんとう年齢(とし)とりよったな。」

口には出さないが、八十五歳の爺を軽侮する相がありありと出ている。爺とはこの原稿を書いているやつがこれのことである。

JR紀勢本線は新宮駅前立つ童謡碑を見て、のけ反った。この齢まで「鳩ぼっぼ」の歌詞は「ポッポッポ鳩ポッポ 豆が欲しいか そらやるぞ、みんなで仲良く食べに来い。」だと信じてきた。五歳で覚えたとして八十年がほどを。

碑に刻まれた、東くめ作詞・瀧廉太郎作曲のそれは「♪鳩ぼっぼ 鳩

ぼっば ポツポポツポと 飛んで来い お寺の屋根から 下りて来い」とある。

帰宅すると『日本唱歌集』（岩波文庫）を調べた。

ふむふむなるほど。東くめさんの童謡（明治四十四年『幼稚園唱歌』は『鳩ぼっば』であり、「豆が欲しいか そらやるぞ」のほうは作詞者不明で、明治四十四年に文部省唱歌に制定されている。タイトルは『鳩』一字だけ。

ところが……だ。悔しまぎれに言うんじゃないが、鳩はどう鳴く？ あなたのお答えは決まっている。「ポツポ」だろう。

だがね、そうと鳴くのは、ありやあ山鳩（キジ鳩ともいう）で、お寺やお宮さん、公園などにいるおなじみのイエバトは、ハ〜イ、よく聞いてくださいよ。クツクツクツと鳴いてるじゃん。

明治以来、その動物学的な、種類と鳴き声の違いについてころづいた日本人は一人も居なかったのかなとすれば罪は軽い、思うんですがね。



鳩ぼっば

東くめ 作詞
流 廉太郎 作曲

はとぼっば はとぼっば ポツポポツポと
とんでこい おてらのやねから おりてこい
まめを やるから みなた べよ たべでもすぐに
かえらずに ポツポポツポと ないてあそべ

鳩

ポツ ポツ ポ はとポツ ポ
ま め が ほ し い か そ ら や る ぞ
み ん な で な か よ く た べ に こ い

「どこの暦？」

副会長 安積 聖夫

（こよみ読み解き事典 より）
農業や狩猟牧畜・採集などの生活に必要な自然の移り変わりを目安にする古い時代の自然暦です。年初は旧暦の3月に始まります。

- 3月…イノミ チュプⅡ祝い日 またはトエンタンネ チュプⅡ 日がそこから長くなる月
- 4月…ハプラブ チュプⅡ鳥が出て 鳴く月
- 5月…モ キウタ チュプⅡひめい ずいを取り始める月
- 6月…シ キウタ チュプⅡひめい ずいを盛んに取る月
- 7月…モ マウタ チュプⅡはま なすを取り始める月
- 8月…シ マウタ チュプⅡはま なすを盛んに取る月
- 9月…モ ニヨラブ チュプⅡ木の葉の初めて落ちる月
- 10月…シ ニヨラブ チュプⅡ木の葉が盛んに落ちる月
- 11月…ウンボク チュプⅡ足の裏が冷たくなる月
- 12月…シユナン チュプⅡたいまつで魚をとる月
- 1月…ク エ カイⅡ弓が折れるほど狩りをする月
- 2月…チウ ルプ チュプⅡ海が凍る月

「アイヌ風俗略志」（村尾元長 明治25年）に紹介されている、十勝山中のアイヌの暦です。年始は道南と道北とは一〜二ヶ月ずれています。

原始的な暦法による暦は、主として生産活動にしたがって決められているので、類似の生活を送っている人々の間では似通ったパターンがあります。生産手段が違えば隣接の地域でも異なった暦を持つことになりません。

次はフィリピン島のルソン島ボントク・イゴロット族の暦です。

- 一、イナナⅡ米田の仕事がなくなる・三ヶ月
 - 二、ラトウプⅡ最初の収穫・四週間
 - 三、チヨオクⅡ米の大部分の収穫
 - 四、リバスⅡパレイの収穫終了・十〜十五日
 - 五、バリリングⅡキャモーツの植え時・六週間
 - 六、サガンマⅡ米の苗床が作られる・二ヶ月
 - 七、バチヨングⅡ種蒔き・五〜六週間
 - 八、サマⅡ苗を植える・七週間
- 長短不定の八季節を経て約三百五十日余りの暦です。労働の開始される頃をもって季節の名称としますが、季節の長さが労働期間と一致するわけではありません。

科学暦8年度会計報告

収入		支出	
会費	446,000	HP 運営費	108,630
寄付	42,000	瓦版印刷送料	226,846
広告料	5,000	事務局費	19,741
雑収入	18,000		
合計	511,000	合計	355,217

次年度繰越 511,000-355,217=155,783

科学暦・宇宙語普及協会事務局

お礼
 昨年末の瓦版存続についてのお願いに對し、お返事をいただき、誠に有難うございました。
 二千三百通お出しし、五百三十通の返信を頂き、百八十人の方々に継続していただきました。
 ご支援を心から感謝いたします。

お座敷 焼きもろこ

鴨すき

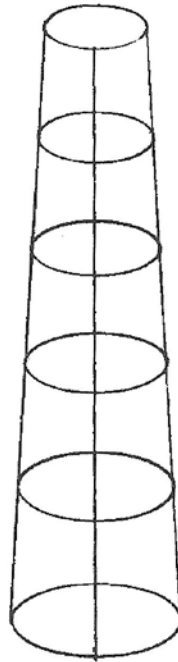
しづか楼

大津市本堅田 2-17-10

電話 0775-72-1111



“イメージを建てる”



株式会社

灘工務店

〒541-0046

大阪市中央区平野町

1-4-1

TEL

06-6228-0126

FAX

06-6228-0742

科学暦八年度理事会報告

開催日時：日二十月五日

場所：中村氏宅

出席者：角辻格、角辻克子、中村允人、中村富美子、安積坂口

内容

- 一、角辻 格 新会長に就く。
 多忙のため、日常実務は、副会長の安積が担う。
- 二、役員就任希望者があれば迎える。
- 三、瓦版はさらに充実させ、発行を続ける。
- 四、その他

科学暦九年度活動予定

- 一、理事会開催
- 二、総会開催
- 三、瓦版九号発行

原稿募集中・・・どなたでも応募してください。(内容を問いません。)

会報に掲載の広告募集

次号に掲載いたします。
 一頁の五分の一 5,000円
 十分の一 3,000円
 お申込は事務局まで。

科学暦・宇宙語普及協会事務局

芦屋市奥池町一丁目一八
 角辻総会只間科学研究所 気付
 電話〇七九七二八〇二二

編集人 安積 聖夫
 科学暦九年四月二十五日